

開講年度・学期	2018年度・通年	授業形態	演習
科目名	専門演習（国際経済法）	科目ナンバー	JASEM3303
英語表記	Seminar on International Economic Law	担当教員	平 覚
単位数	4		

科目の主題

WTO（世界貿易機関）の紛争解決事例の分析

授業の到達目標

WTOの紛争解決手続によって扱われた最近の紛争事例の分析を通じて、国際経済紛争の処理にかかわる

実体法上および手続法上の問題を検討してゆく。

授業内容・授業計画

前期は、全員でテーマに関連する文献を輪読して理解を深める。後期は、紛争事例ごとに報告者を決め、事例の報告と問題提起をしてもらい、その後、参加者全員で討議する。報告者は報告内容のレジメを用意すること。

第1回	ガイダンスと WTO・FTA 法入門第1章 総論	第2回	第2章 WTO と FTA の関係
第3回	第3章 物品貿易に関する基本原則	第4回	第4章 グローバル経済体制における原則と例外
第5回	第5章 基準・認証制度（SPS/TBT）	第6回	第6章 貿易救済措置
第7回	第7章 農業貿易	第8回	第8章 サービス貿易
第9回	第9章 投資・政府調達・知的財産	第10回	第10章 紛争処理手続
第11回	第11章 主要国の FTA 政策	第12回	第12章 開発
第13回	第13章 日本企業の海外展開	第14回	第14章 グローバル経済体制の今後
第15回	最恵国待遇原則に関する事例分析	第16回	関税譲許に関する事例分析
第17回	内国民待遇原則に関する事例分析①	第18回	内国民待遇原則に関する事例分析②
第19回	内国民待遇原則に関する事例分析③	第20回	数量制限の一般的禁止原則に関する事例分析
第21回	一般的例外①	第22回	一般的例外②
第23回	一般的例外③	第24回	SPS 協定に関する事例分析
第25回	TBT 協定に関する事例分析	第26回	セーフガードに関する事例分析
第27回	アンチダンピングに関する事例分析	第28回	補助金に関する事例分析
第29回	サービス貿易に関する事例分析	第30回	知的所有権に関する事例分析

事前・事後学習の内容

事前：毎回、報告者を決めて報告してもらおうが、報告者以外は、関連資料をよく読んで質問を用意してほしい。

事後：授業で検討した部分をよく復習して新たな疑問点があれば次回ゼミで質問すること。

評価方法

評価は授業への貢献度（報告内容および積極的な質疑応答など）と出席率に大きく依存する。

受講生へのコメント

積極的な質問や意見を期待したい。

教材

小林、飯野、小寺、福永『WTO・FTA 法入門-グローバル経済のルールを学ぶ』法律文化社、2016年

松下、中川、清水『ケースブックWTO法』有斐閣、2009年

参考文献：中川、清水、平、間宮（共著）『国際経済法第2版』有斐閣、2012年

その他**履修可能最低年次**

3年次生以上